



交通安全情報 No21

～ めざせ 安全で安心な車社会 北海道 ～

平成19年4月3日
警察本部交通部
交通総合対策センター

「違反講習」受講者は「優良」の3.5倍！

～ 更新時講習別の事故実態が明らかに ～



運転免許証の更新時講習時に「違反講習」を受講した人は、その後交通死亡事故を起こす割合が、他の運転者より高いことが明らかとなりました。

これは、過去3年間(H16～H18)の道内の更新時講習受講者2,184,284人(高齢者講習受講者を除く)について調査したもので、このうち死亡事故を起こした人が773人で、受講者2,826人に1人が死亡事故を起こしています。

過去3年間における死亡事故を起こした773人の調査結果

交通事故を起こした人が最も多いのは、「違反講習」の受講者で、以下初回、一般、優良講習の順となり、講習区分と規範意識には深い関係があるということが明らかになりました。また、受講者10万人当たりでは、

優良講習	18.0人	
一般講習	30.0人	(優良の約1.7倍)
初回講習	47.8人	(優良の約2.7倍)
違反講習	63.7人	(優良の約3.5倍)

であり、無事故・無違反の優良運転者でも18人が死亡事故を起こしており油断は禁物です。

講習区分と規範意識が比例！？

【更新時講習の区分等】

講習区分	講習時間	免許継続 経年数	過去5年間の違反事故歴	有効 期間	次回 の色
優良講習	30分	5年以上	違反・事故歴なし	5年	金
一般講習	60分	5年以上	1～3点の違反が1回	5年	青
初回講習	120分	5年未満	1～3点の違反が1回以内	3年	青
違反講習			上記以外	3年	青

「高齢者講習の区分等」(参考)

講習区分	講習時間	受講対象	有効期間	次回の色
高齢者講習	180分	70歳以上	70歳～5年	有効期間に関係なく違反・事故前歴により金・青
			71歳～4年	
			72歳以上～3年	

